

事務事業評価表 平成22年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 就業環境の整備
 基本事業 就業機会の確保

事業名 **緊急雇用創出事業 (財務諸表作成事業)**

[0939]

部名	総務部	事業開始年度	平成21年度	実施計画事業認定	非対象
課名	財政課	事業終了年度	平成21年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) ・市民 ・財務諸表に掲載する市有財産土地
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) ・失業者の雇用確保 ・財務諸表作成の省力化
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) ・臨時職員の雇用 ・市有財産の時価評価計算

事業量・コスト指標の推移		区分	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	人口					121,987	
対象指標2	市有財産土地筆数					1,821	
活動指標1	臨時職員採用人数					1	
活動指標2	計算作業日数					59	
成果指標1	雇用人数					1	
成果指標2	計算完了土地筆数					1,821	
単位コスト指標							
事業費計 (A)			千円	0	0	331	0
正職員人件費 (B)			千円	0	0	0	0
総事業費 (A) + (B)			千円	0	0	331	0

費用内訳	
21年度	賃金 331千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

緊急雇用対策として妥当

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

就職者数の増加に貢献する

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

計画どおり雇用確保

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

雇用人数を増やすことができれば成果向上する

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

緊急雇用対策であるため